



地域情報紙

ほおじろ

読者参加版

この紙面の主役は読者の皆さま。ご投稿いただいた原稿を中心に、耳寄りな情報を加えてお届けしてまいります。皆さまからのご投稿をお待ちしています。

2014 年 9 月 10 日

朝日新聞販売会社 (株) エヌ・アイ・エス

広報部

TEL 047-498-4838 FAX 047-498-4839 千葉県白井市根 116-32 川上ビル 202 E-mail: nis@shiroi-nis.com

今回原稿をお寄せ下さったのは、当社主催の講座、高山修一さんの「新聞の楽しみ方&活用術」受講者の皆さま。講座では、文章を書くこと、作品を投稿することの楽しさについても学び、実際にペンを取る参加者も……。そんな中から4名の作品を、高山さんからコメントを添えて、ご紹介させていただきます。

今思うこと…… 人生まだこれから

M・M・

勤続35年、その後、非常勤で5年勤めた。在職中は仕事中心に生活してきた。時間に追われてやりたいことが思うようにならなかった。

今年から時間的に余裕ができた。読書がしたい、学習したい、旅にでたい。

しかし、気力、体力、集中力が……。第二の人生は、まだまだこれから。気持ち強く持ち、自分のライフワークである「平和学習」や「ハングル」、自分を成長させることにチャレンジしていきたい。

※現役を終え、時間はたっぷり。学ぶことは生きること。ウイングを広げて、知の地平線を切り開きましょう。新しく見えるものがあると、前に進む意欲と生きる力がわいてきます。

早口ことばが苦手

南 峯子

「新聞の楽しみ方・活用術講座」で、毎回天声人語の音読と早口ことばがあります。

音読は学生の頃以来で、とても新鮮な気持ちで天声人語を読むことができました。

でも、早口ことばは滑舌が悪く、皆さんの早口に遅れてしまいます。苦手です。テレビやラジオでも早口は聞き取りづらいです。義歯の多い老人は早口は難しいのでしょうか。

ベテランのアナウンサーも滑舌の練習をするそうですが、早口が上手になりたいです。

※単身赴任の休日。人と全く話をしない日がありました。脳がスカスカになった気がしました。「言葉」あつての人間。ちょっととした工夫が、実り多い人生を支えてくれます。

「ののちゃん」のこと

鈴木克己

四コマ漫画の「ののちゃん」が楽しみです。山田家と周辺の人々、怪獣(?)が引きおこす日常、非日常の出来事が活力をもたらししてくれます。

なかでも、シゲおばあさんとシルバー会の面々が行動する作品が痛快です。高齢化社会にするものぞとの気概あふれる作品、世の中のルール違反、マナー違反はいかんよと教え諭す笑撃のストーリーは清涼剤でもあります。

となりの山田君から「ののちゃん」へ、いしいワールド全開です。

※鉄腕アトムや赤胴鈴之助大好き世代。書棚にはサザエさんが全巻。ののちゃんは、思わず笑うこともあります。が、たまに、考えても意味がわからず悩むこともあります。



8月23日に実施した第3回「新聞の楽しみ方&活用術」講座では、紙面への読者参加の勧めも……。次回は10月26日(日)に開催の予定です。ふるってご参加ください。

育爺の孫守り

杉原賢一

若い頃、「孫は眼の中に入れても痛くないほど可愛いもの」という話を耳にしたが、実感はなかった。

結婚して、二人の子と三人の孫に恵まれた。今では、「孫は存在そのものが可愛いのだ」と思えるようになった。

先日知人から、「子供は、一つ、二つと、つの字がつく歳頃は、神様が宿っているから可愛いのだ」と教わった。抱っこをせが

む孫の温もりを胸に、自分達の命がバトンタッチされている思いをズシリと感じている。幼な子の

自我の芽生えし その仕草 言葉あらねど 意思を伝える

※子らが小さい時分はまだ仕事もろくにできず、忙しくて休日は眠かった。時間を巻き戻せたら、「つ」がつく年齢のわが子とたっぷり遊びたいと、今頃思っています。



文章あれこれ①

高山修一

日々の暮らしのなかで、長い文章を書く機会はめったにな

い、という人が多いだろう。た

いがいのことは電話ですむ。ス

マホやパソコンでメール、とい

人はいない。携帯のメールもほ

ぼこれに近いが、手紙、はがき

の文章は、例え短くても、読み

直し、文意や文字遣いは、これ

でいいかと考える。

書いたものを、声をだして読

んでみると面白い。目からの

情報だけでなく、音読すること

で目と耳からの二方向からの情

報が脳に届き、内容がよりよい

ものになるからだ。手紙、はが

きに限らず、文章は相手に意味

が伝わってこそそのもの。工夫は

当然相手にも受け入れられる。

\*今回の投稿では、すっきりと読んで

もらうために、文意を全く変えずに、

ややダブった感じの表現を削ったり、

場合によってはわずかに言葉を改め

たり、加えたりしたものがあること

をお断りしておきます。